



Fukuoka Growth

04 多様・多彩な人材・人流のクロスロード

(Version1.1)

福岡の成長ポテンシャル

公益財団法人福岡アジア都市研究所

情報戦略室

後藤 太一
富山 尚久
山田 美里

福岡市には多くの「働く人」が集まっています。
福岡市には多くの「働く場」があり、多様な職業の人が暮らしています。
市民はもとより、福岡都市圏など周辺地域に住む多くの人が、福岡市で働き、多くの価値を生み出しています。

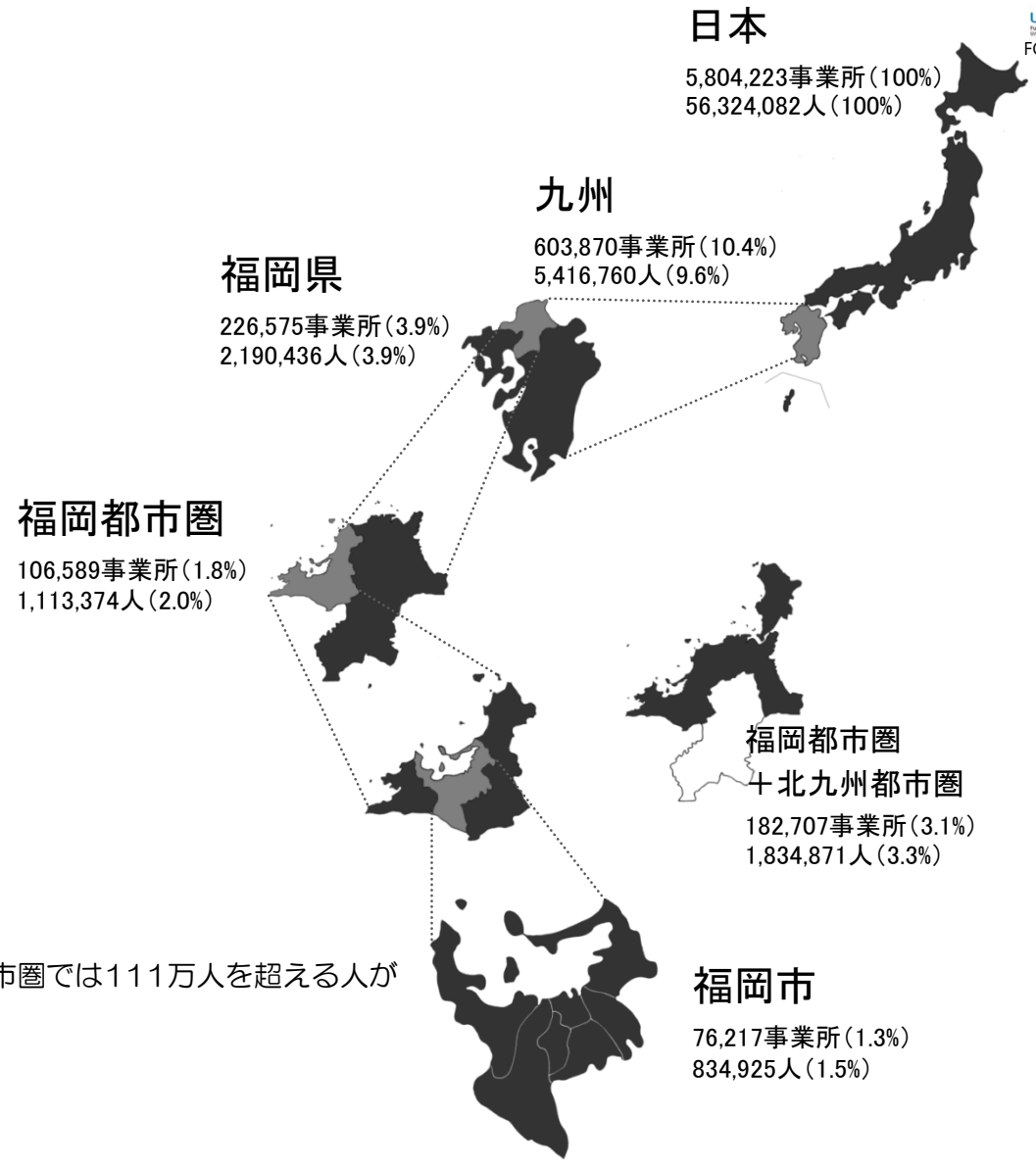
福岡市は、毎年10万人を超える人が転入・転出し、全国的にみても、住民の入れ替わりが多いのが特徴です。
多くの人を受け入れる土壌があることは、多様・多彩な人材を集めるポテンシャルを有していると言えます。
一方では、毎年多くの人が市外へ流出しており、特に大学を卒業した人が他県へ出て行くなど、
付加価値を生み出し得る人材が流出している状況もみられます。
また、福岡市は、働く女性が多いものの、特に既婚女性では非正規職の地位で働く人が多くなり、
結婚後の女性の能力を十分にいかしきれていない状況も垣間みえます。

福岡市には、専門的な知識や技術を有する「クリエイティブクラス」とも呼べる職業の人も多く住んでいますが、
多彩な人材の能力をさらにいかすことができれば、より大きな付加価値を生み出す余力を備えています。

多様な人材を受け入れる環境やその知識や技術を活用する仕組みが十分に整っていない現状が推測されますが、
多くの人々が福岡市に集まり、出会い、交流することで生まれる新たな価値や機会の中で、
その能力をいかし、さらに大きな価値を生み出す余地は大きいといえます。

新しい住民が多いことは、後から転入してくる人にとっても受け入れやすいオープンな環境の証左とも言えます。
毎年多くの人が出会い交流する「人流のクロスロード」として、
異なる価値が交わることで生まれる発見や可能性を、新たな価値創造に結びつけ、
新陳代謝が活発な福岡市ならではの発展のチカラとしていくことが期待されます。

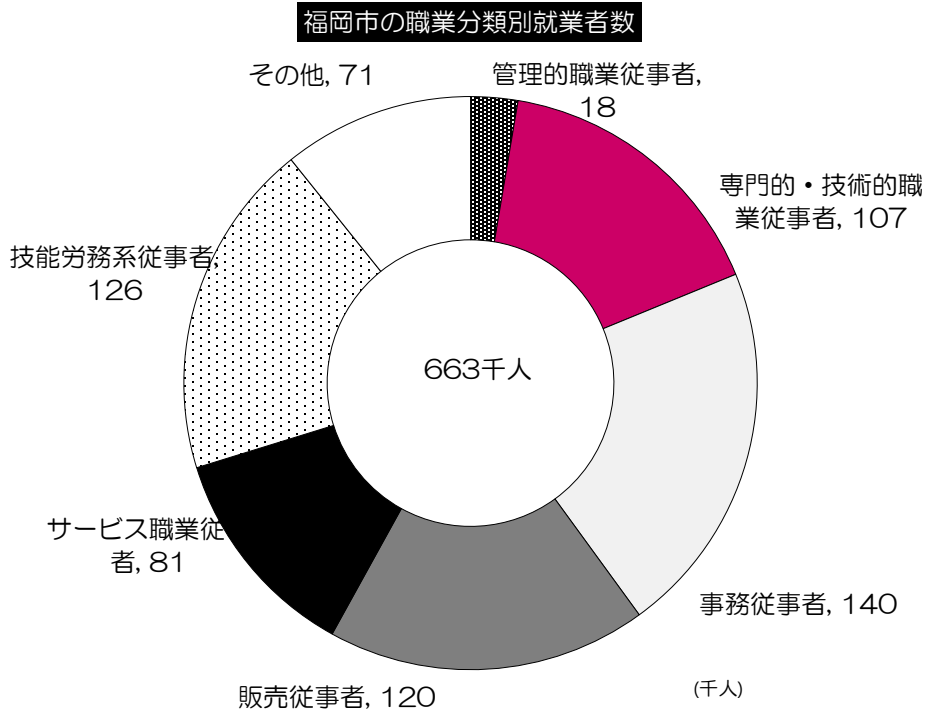
福岡都市圏で100万人を超える従業者



福岡市で働く民営事業所従業者は約84万人、福岡都市圏では111万人を超える人が従業しています。

・福岡都市圏: 福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、糸島市、筑紫郡那珂川町、糟屋郡宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町
・北九州都市圏: 北九州市、直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、遠賀郡芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、鞍手郡小竹町、鞍手町、京都郡苅田町、みやこ町、築上郡吉富町、上毛町、築上町、山口県下関市
資料: 平成24年経済センサス活動調査速報値(民営事業所のみ)

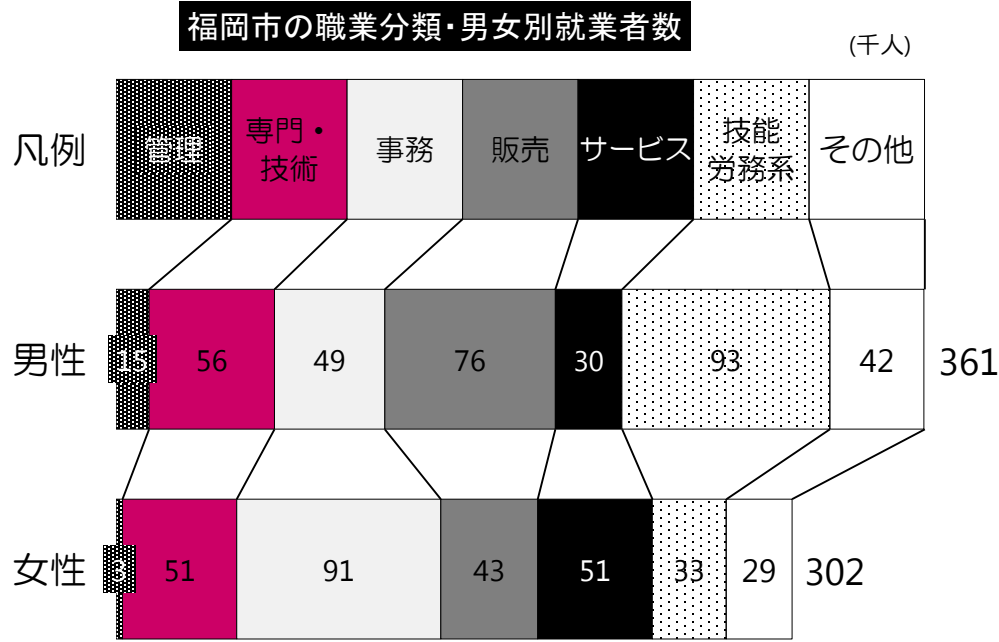
福岡市民の職業は事務、販売職に加え専門・技術的職業従事者など多様な構成



福岡市の就業者は、事務従事者、技能労務系従事者、販売従事者、専門的・技術的職業従事者などが多くなっています。

資料：国勢調査（2010年）
 *抽出集計結果
 *技能労務系…生産工程従事者、輸送・機械運転従事者、建設・採掘従事者、運搬・清掃・包装等従事者、分類不能の職業
 *その他…保安職業従事者、農林漁業従事者

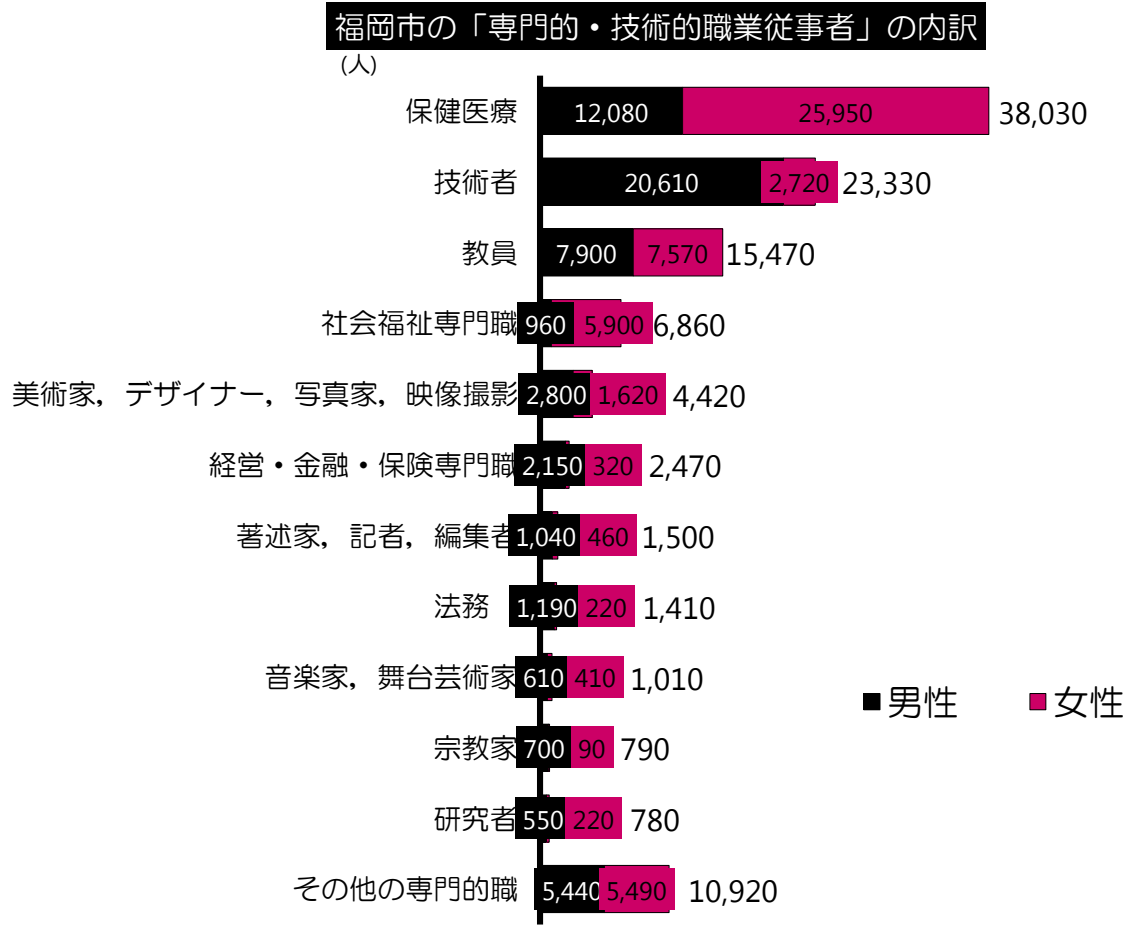
男性は販売職や現業系職、女性は事務やサービス職



福岡市の就業者職業は、男性は販売職や技能労務系職業、女性は事務職やサービス職従事者が多くなっています。専門・技術的職業は、男女とも一定のボリュームがあります。

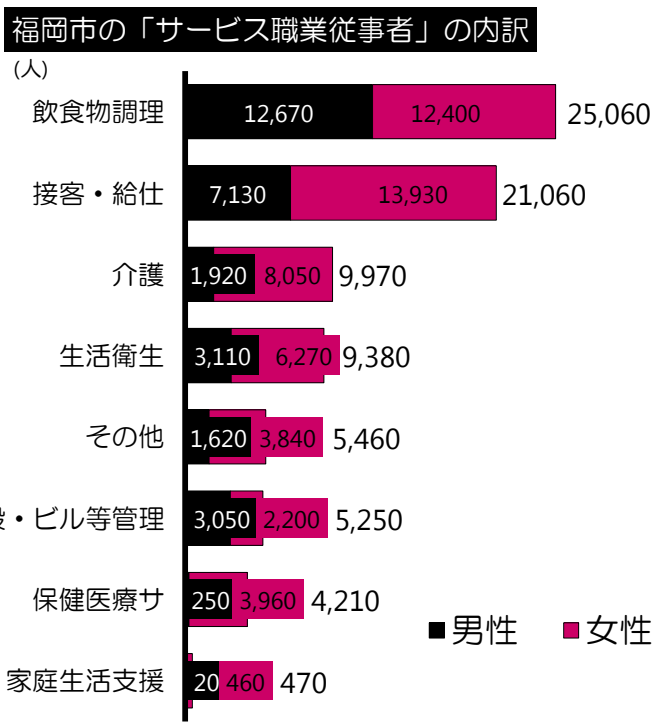
資料：国勢調査（2010年）
 *抽出集計結果
 *技能労務系…生産工程従事者、輸送・機械運転従事者、建設・採掘従事者、運搬・清掃・包装等従事者、分類不能の職業
 *その他…保安職業従事者、農林漁業従事者

多様な専門職人材が豊富



一定割合を占める「専門的・技術的職業」の詳細は、保健医療や技術者、教員などが多く、保健医療は女性、技術者は男性の比率が高くなっています。

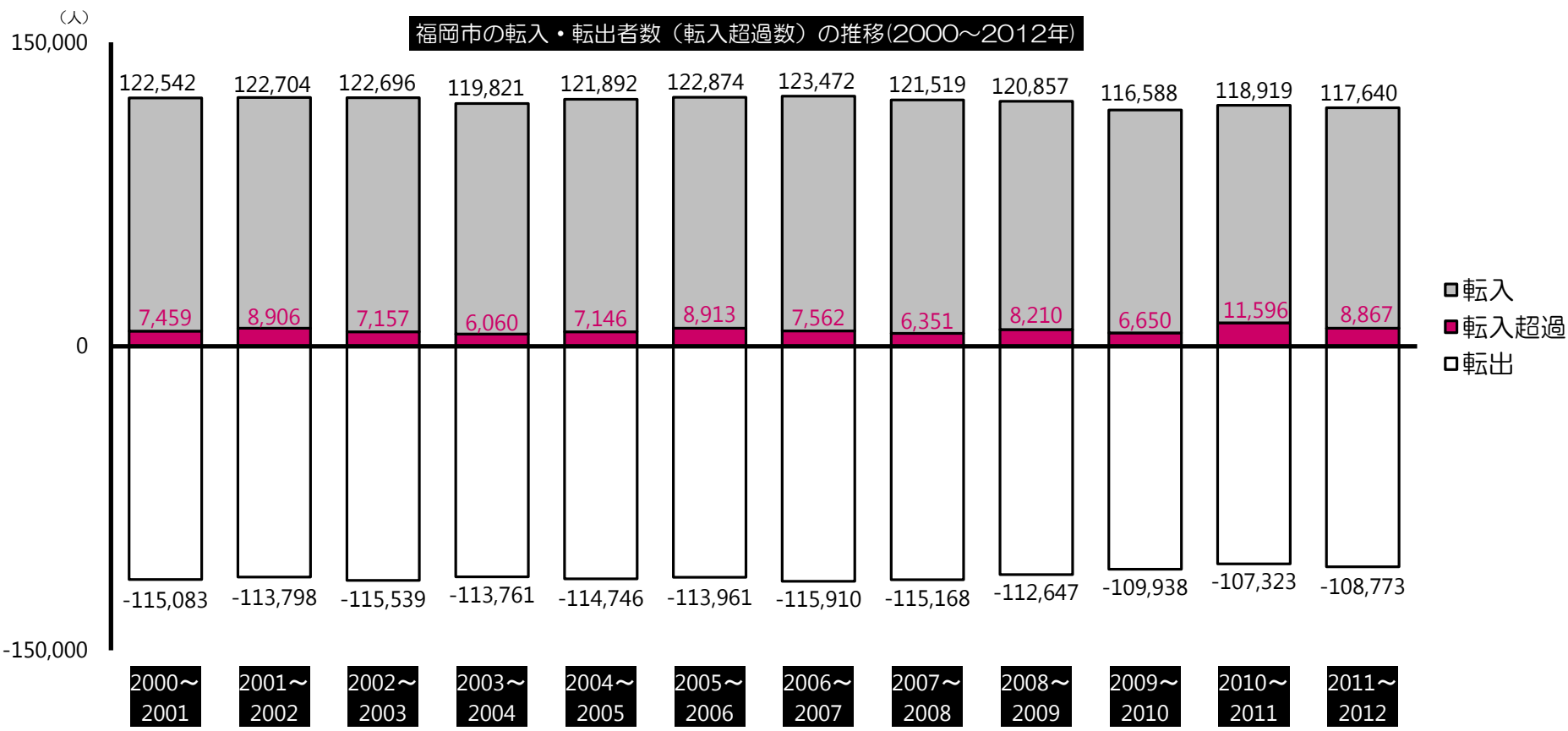
女性に多いサービス職



同じく「サービス職業」詳細は、飲食物調理や接客・給仕などが多く、女性比率が高い業種が多くなっています。

資料：国勢調査（2010年）
 *抽出集計結果

毎年10万人を超える人口の入れ替わり・数千～1万人規模の転入超過で推移

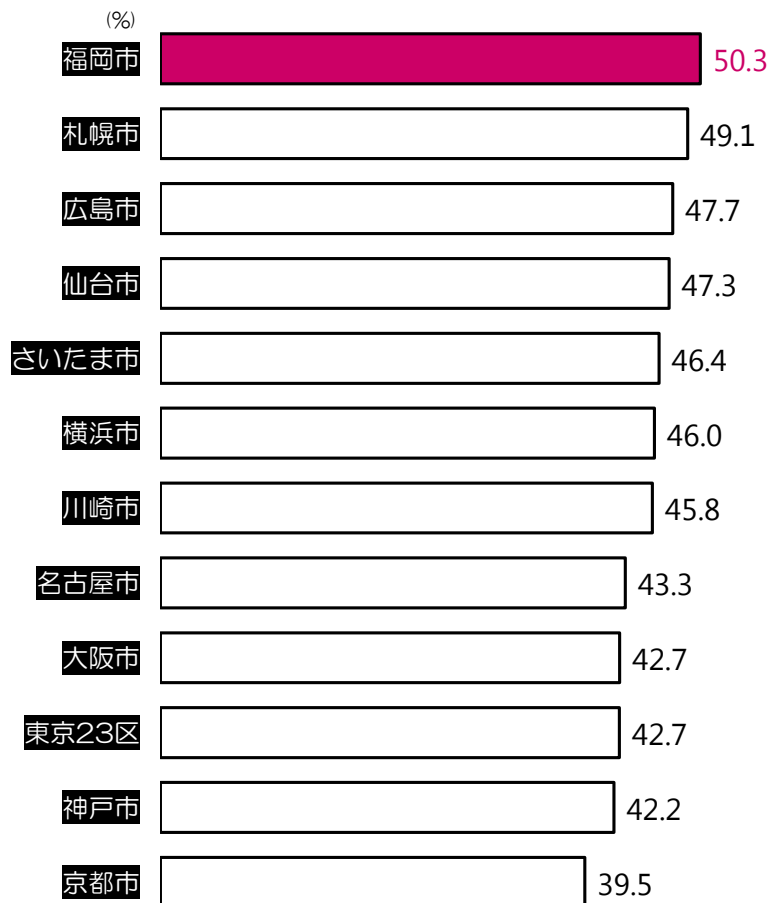


福岡市は毎年10万人を超える転出入で住民が入れ替わっており、人口流動の大きな都市となっています。転入者数から転出者数を引いた転入超過数は、毎年数千～1万人規模で推移しています。

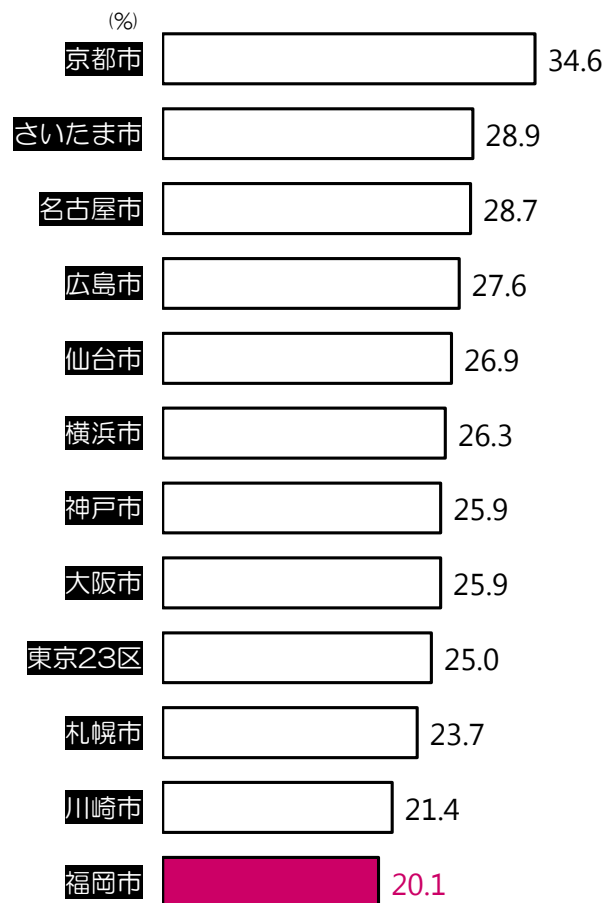
資料：福岡県人口移動調査
*各年10月から翌9月までの転出入数

居住年数が出入りの多さを裏付け

居住年数10年未満人口比率【主要大都市比較】(2010年)



居住年数20年以上人口比率【主要大都市比較】(2010年)



福岡市居住者の居住年数は、他の都市と比較して短い傾向にあり、他の都市と比較しても入れ替わりの多い都市であることがわかります。

資料：平成22年国勢調査

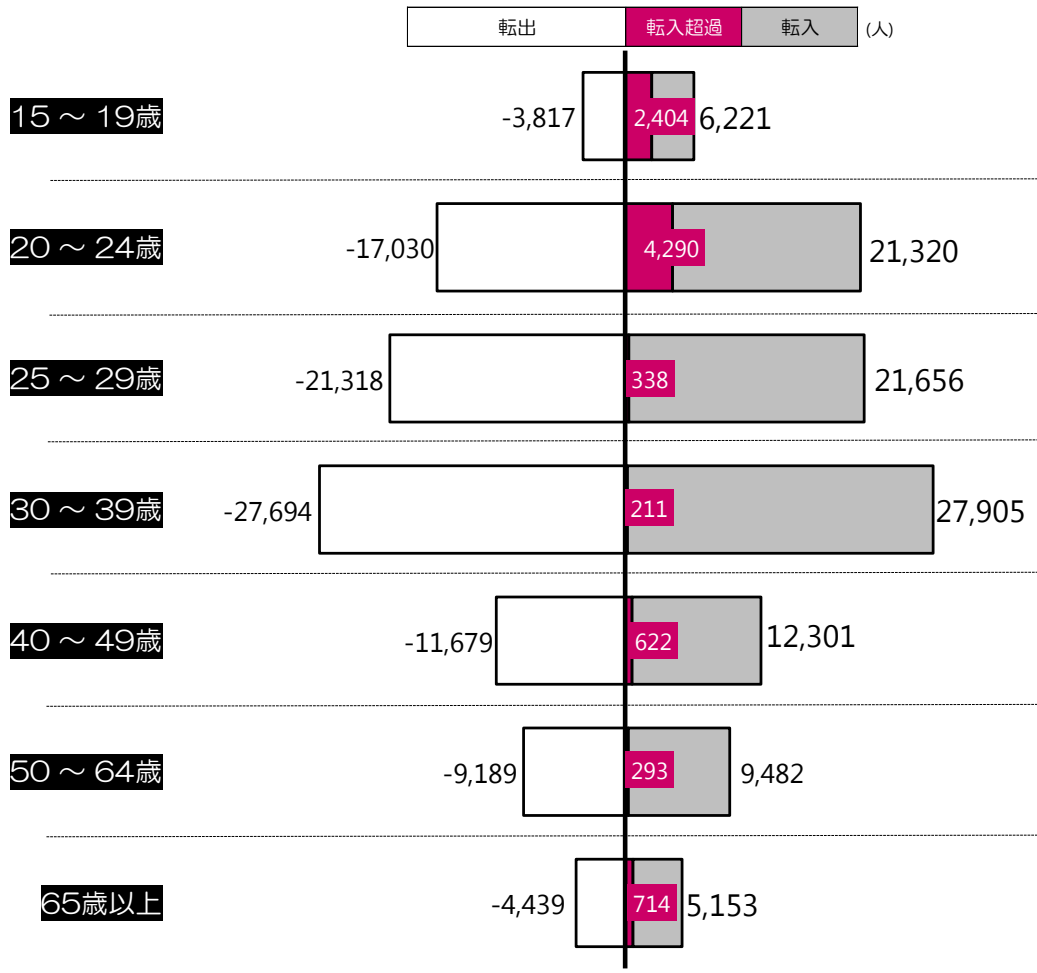
*抽出集計結果

*「現在の場所に住んでいる期間」として質問

*「10年未満」は10年未満回答者と10歳未満の「生まれてからずっと」の合計、「20年以上」は20年以上回答者と20歳以上の「生まれてからずっと」の合計

30代以下は転入も多いが転出も多い・出入りが多い都市

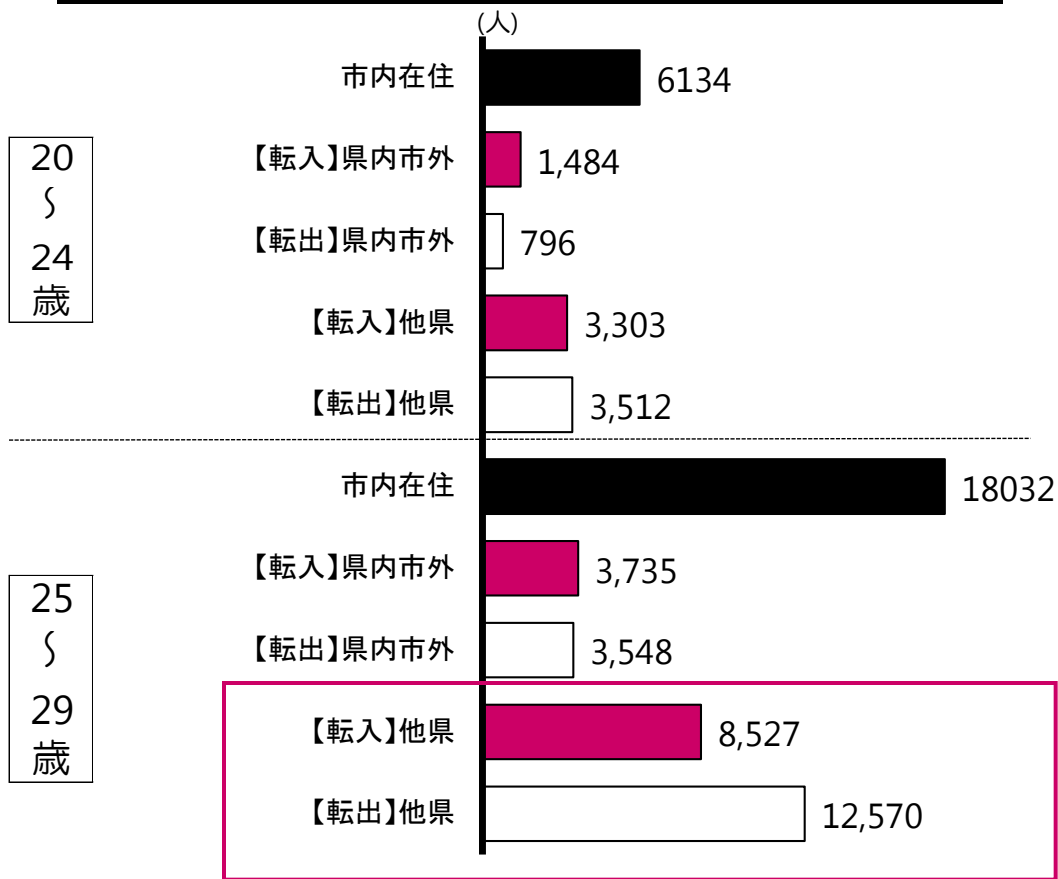
福岡市の15歳以上年齢別転出入者数の状況(2011年10月~2012年9月)



福岡市の転出入は、20代~30代で特に多くなっています。

大学卒業者は県外に多数流出

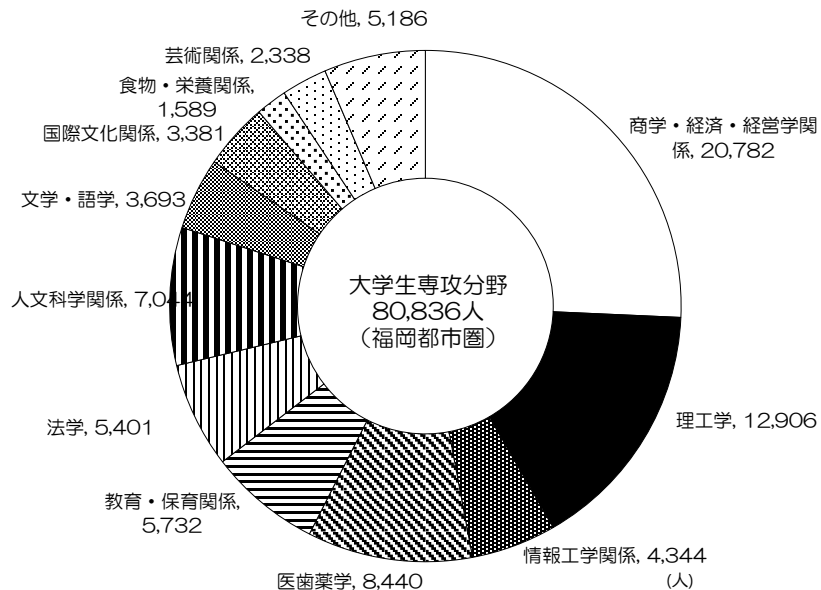
福岡市の大学・大学院卒業者の5年前居住地からの移動状況



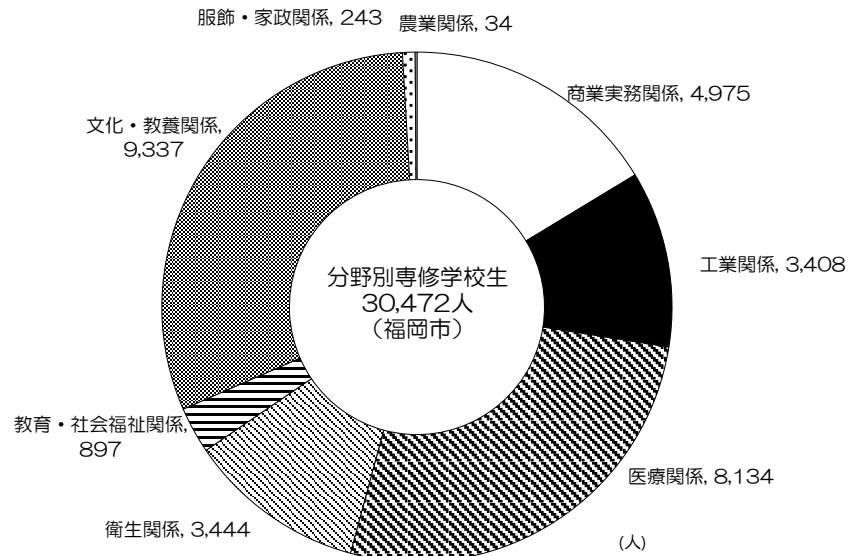
福岡市の現在の居住者のうち、大学・大学院卒業者は、5年前は市内在住者が多くなっています。卒業後5年経過した人が含まれる20代後半では、他県から入って来ている人より他県へ出て行った人（現居住者でない）が多くなっており、大学卒業後に転出してしまっている人が多くなっていることがわかります。

多様な分野の大学生と専門性の高い専修学校生

福岡市都市圏大学・短期大学の専攻分野別学生数



福岡市の専修学校分野別生徒数

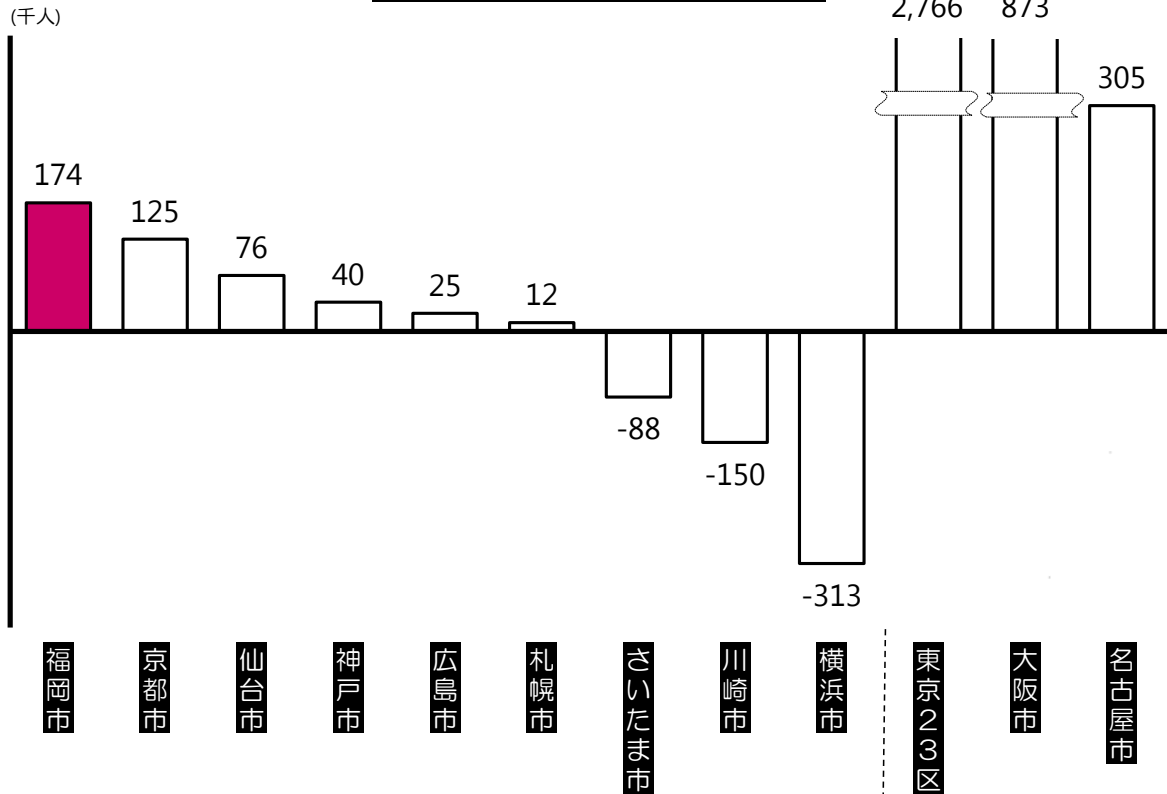


次代の労働力分野として、福岡都市圏の大学生の専攻分野は、商業・経済学系の次に理工学系、医歯薬系などが多くなっています。また、福岡市の専修学校は、商業、医療、文化・教養などが多くなっています。

専門的な知識や技術を学ぶ学生が多い現状ですが、前述の市民の職業分類をみるかぎり、十分にそれを活用していない状況もみられ、学生の能力を活かす余地は大きいといえます。

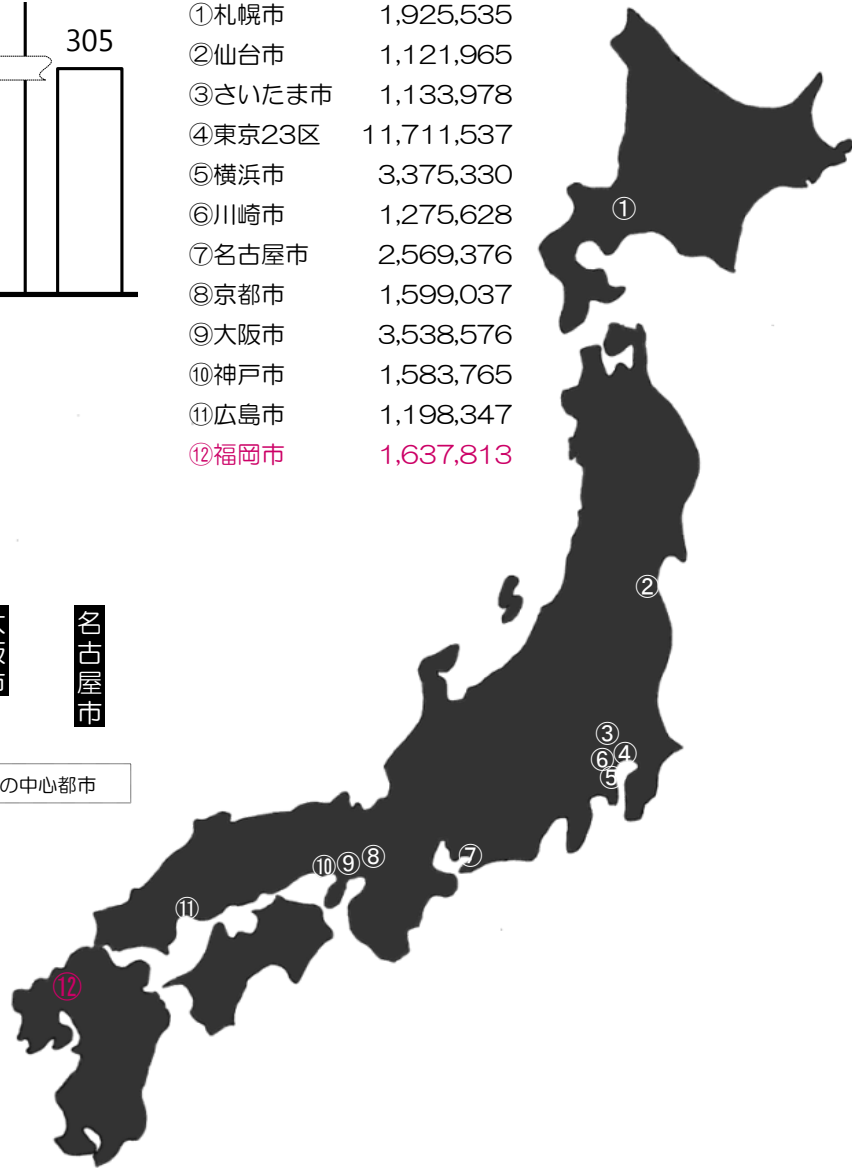
毎日多くの人働き、学ぶために福岡へ

主要大都市における昼間人口の増減数



主要大都市昼間人口(人)

①札幌市	1,925,535
②仙台市	1,121,965
③さいたま市	1,133,978
④東京23区	11,711,537
⑤横浜市	3,375,330
⑥川崎市	1,275,628
⑦名古屋市	2,569,376
⑧京都市	1,599,037
⑨大阪市	3,538,576
⑩神戸市	1,583,765
⑪広島市	1,198,347
⑫福岡市	1,637,813



福岡市の昼間人口は約164万人で、周辺市町村から17万4千人ほどが通勤・通学のために流入しており、常住人口比111.9%となっています。

三大都市圏の中心都市では集積度が特になくなっていますが、それ以外の都市では、福岡市の集積度が最も高くなっています。

三大都市圏の中心都市

資料：国勢調査（2010年）

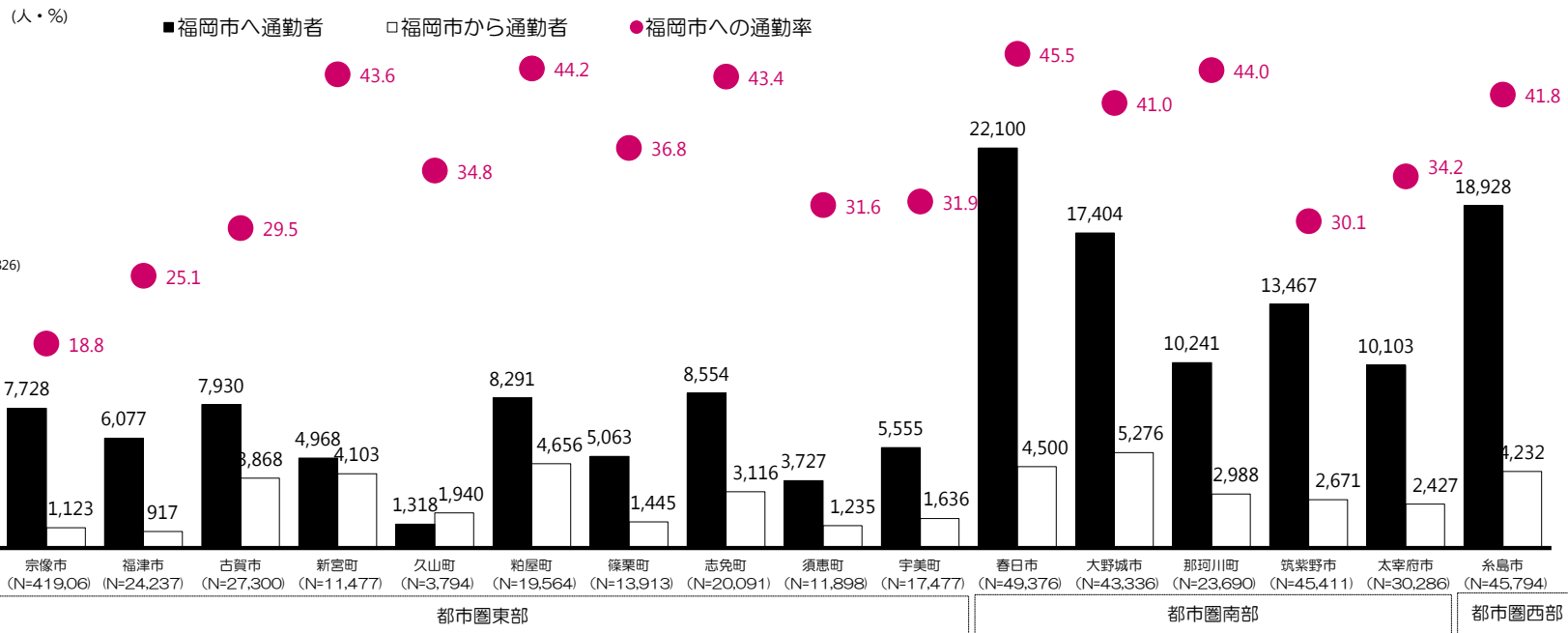
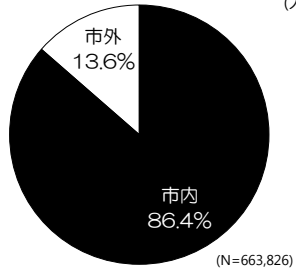
*人口100万人以上の大都市

*昼間人口…従業員・通学地として昼間に活動している人の数で、他の地域から入ってくる人口を差し、さらに他の地域へ出て行く人口を引いたもの。もともとの人口より増加幅大きいほど多くの人々が通勤・通学してきている状況

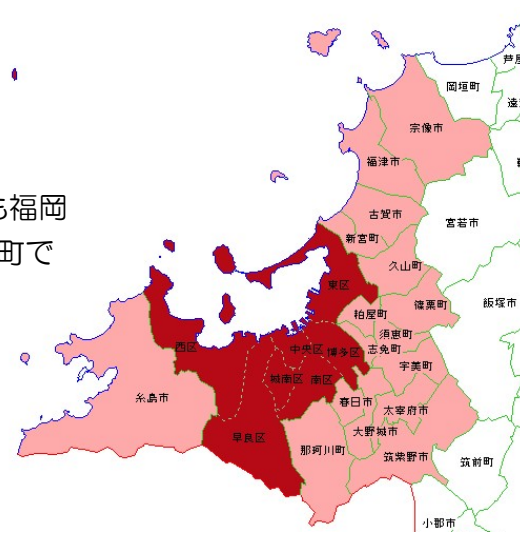
都市圏から多くの従業者が福岡市へ

福岡都市圏各市町における従業者の福岡市との通勤入出状況(2010年)

福岡市就業者の通勤先
市内・市外比率(2010年)

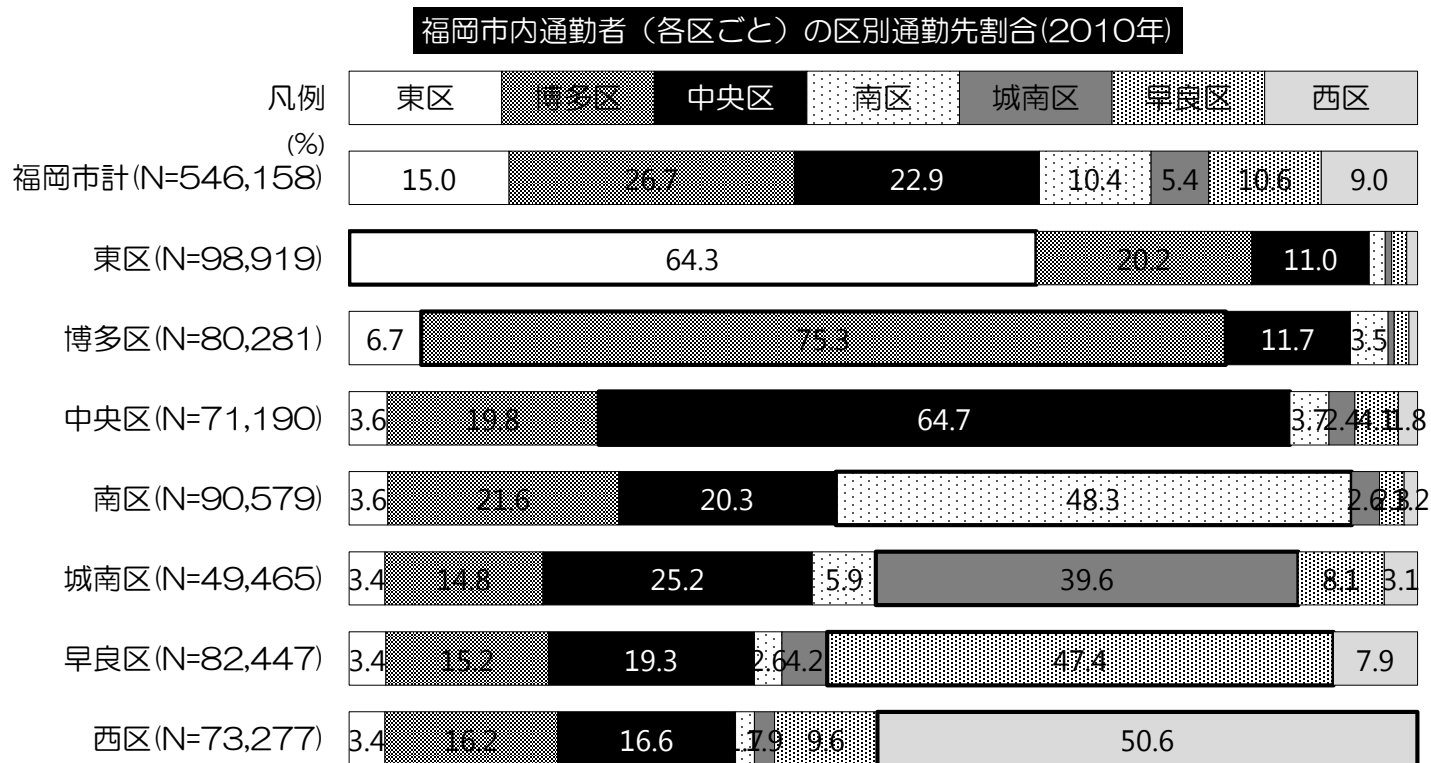


福岡市内居住就業者の市内通勤率は86%あまりとなっています。福岡都市圏の市町では、いずれも福岡市へ出て行く通勤者が多く、福岡市から入ってくる数を大きく上回っています。福岡市に隣接する市町では、福岡市への通勤率が40%を超えています。



資料：国勢調査（2010年）
 *通勤者は含まない
 *市内・市外比率は従業地不詳除く割合
 *福岡都市圏…右図ピンク色の市町・市町名の（ ）内は居住する従業者の数

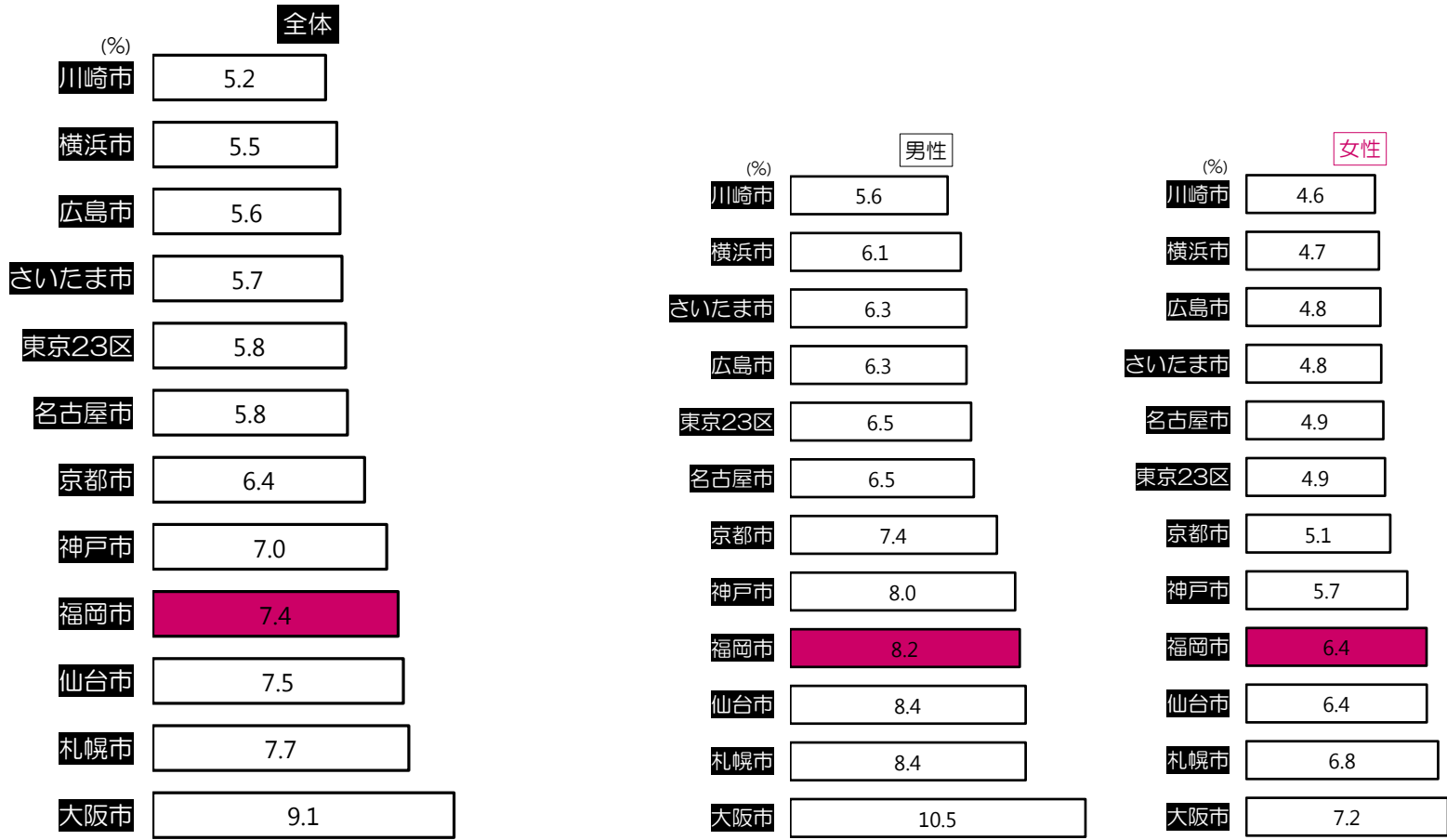
中央・博多区は自区通勤割合が特に高い



福岡市内居住で市内通勤者の通勤先を区別にみると、中央区や博多区居住者の自区通勤割合が特に高くなっています。その他の区居住者は、中央区や博多区通勤割合は高いものの、自区通勤割合の方が高くなっています。中央区、博多区は事業所も多く、職住隣接環境に住む人が多いことがわかります。

失業率は比較的低い

失業率(2010年)【主要大都市比較】



福岡市の失業率は、主要大都市の中では低い方となっています。

資料：国勢調査（2010年）
 *完全失業率…完全失業者÷労働力人口×100
 *人口100万人以上の大都市比較

正規職員・従業員率がやや低い

従業者の地位「全体」(2010年)【主要大都市比較】

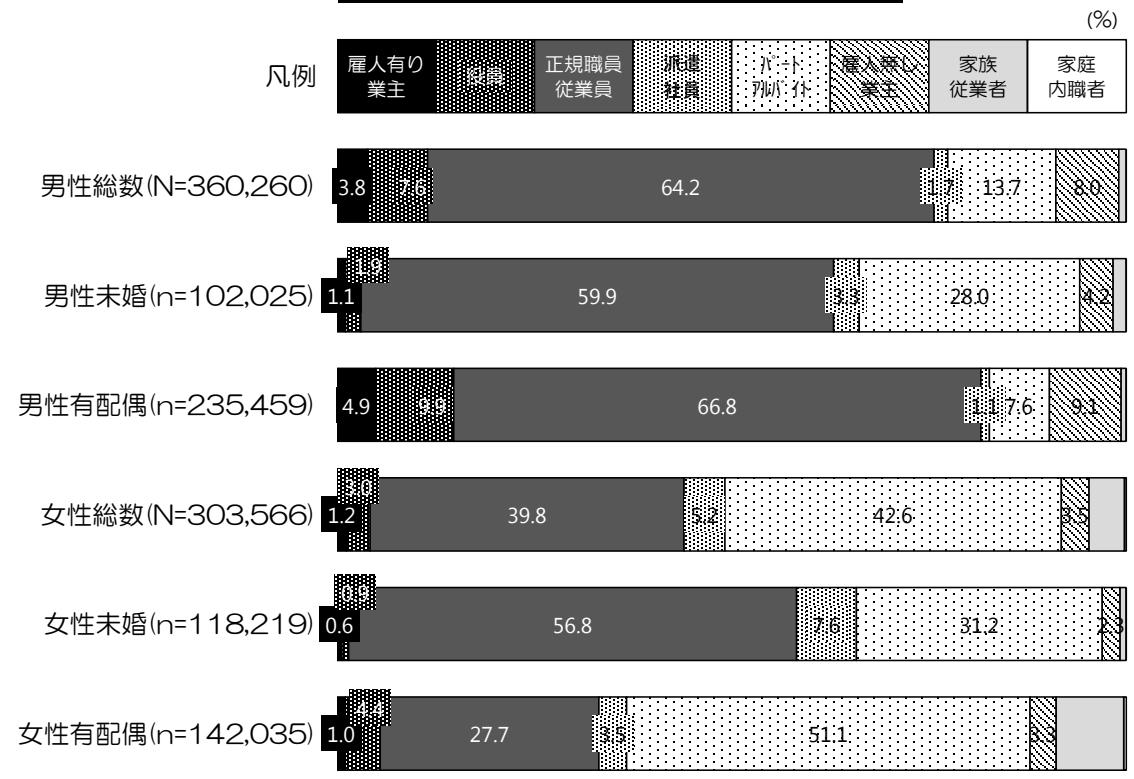


福岡市の就業者は、正規職員・従業員比率が比較的低く、パートタイマーなどがやや高くなっています。失業率は比較的低い一方で、非正規雇用の人がやや多い状況です。

資料：国勢調査(2010年)

女性の結婚を機とした非正規職への移行傾向

福岡市の男女・未既婚別従業者の地位(2010年)



福岡市の就業者は、未婚者では男女の正規職員・従業員比率は大きな差ではありませんが、既婚者では、男性は正規比率が高まるのに対し、女性は正規比率が大きく減少し、パート等の比率が高くなっています。

結婚を機に、非正規職となる女性が多いと考えられますが、知識や技術を持つ女性は多く、活用の余地は大きいといえます。